



仙崎小だより

令和7年度

第4号

発行：仙崎小学校

全校児童 196名

学校の教育目標

「みすゞさんの心を学び、素直な心でたくましく生きる 仙崎っ子の育成」

戦後80年を迎えて ～仙崎の人のやさしさ～



仙崎には、童謡詩人の金子みすゞさん、そして作詞家の大津あきらさんという偉人がいます。

シンガーソングライターのちひろさんは、大津あきらさんのまだ曲がついていない詩に作曲をしました。その名も「心めぐり」。引き揚げをテーマにした詩です。

かつて仙崎は、終戦後、海外に住んでいた日本人の引き揚げ港に指定されました。1945年9月から約1年間に中国大陸や朝鮮半島から約41万人の引き揚げされた方々が仙崎に上陸されました。さまざまな困難に遭いながら、命からがらやっとの思いで帰って来られました。

仙崎に着いた方々は、思いがけない光景を目にします。戦後、食料難でお米はとても貴重でした。でも、仙崎の人々は、引き揚げされた方々に惜しげもなく、お米のおむすびを振るまったそうです。「よくがんばって帰ってきたね」と小さい子どもたちの頭を撫でてくれたそうです。とにかく仙崎の人はやさしく、まるで金子みすゞさんのやさしさ、心の豊かさのような空気が仙崎に流れていたそうです。

1995年、長門市は引き揚げされた方々の手記を一冊の本にまとめました。その最初のページに、大津あきらさんの「心めぐり」という詩を掲載しています。

「心めぐり」は、仙崎へ引き揚げされた方々の心情を詩にしたものです。「日本だけ自分の故里ではない仙崎。でも『故里にも似たあの町へ』帰ってきた。いろんな思いのすべてを包み込んでくれる仙崎の町、仙崎の海の深い深い底から、いろんな思いをすべてを仙崎は受け入れるよ」というようなメッセージにも感じます。

ある6年生が、平和学習の中で、こんな感想をもちました。「昔の仙崎も、いろんな人をちゃんと受け入れてくれるとても温かい町なんだと分かりました」と。

故里にも似たあの町へ	優しさも似たあの町へ	翼になつてめぐる	風になつてめぐる	心はめぐり	心はめぐり	切なさよりも	切なさよりも	心はめぐり	心はめぐり	優しさよりも	優しさよりも	遠い涙の深さよりも	遠い涙の深さよりも	悲しみよりも	悲しみよりも	心はめぐり	心はめぐり
故里にも似たあの町へ	優しさも似たあの町へ	翼になつてめぐる	風になつてめぐる	心はめぐり	心はめぐり	切なさよりも	切なさよりも	心はめぐり	心はめぐり	優しさよりも	優しさよりも	遠い涙の深さよりも	遠い涙の深さよりも	悲しみよりも	悲しみよりも	心はめぐり	心はめぐり

大津あきら

ご案内



9月13日(土)14:30開場 15:00開演、ルネッサながとにて「大津あきら ルネッサ青♪音楽祭」が開催されます。

子どもたち(希望者)、ルネッサながとのステージで「心めぐり」を歌ってみませんか?

参加希望の申込書(詳細)は、9月1日(月)に配付いたします。

ご家庭で、ぜひご検討ください。参加希望者には、2学期、シンガーソングライターのちひろさんが歌の練習をしてくださる予定です。



こだまし合いながら ～生活・総合・自立活動等の様子から～



1年 生活「なかよしいっぱい」
～幼保小交流会～



2年 生活「まちをたんけん 大はっけん」



3年 総合「仙崎はかせちゃんになろう」



4年 総合「仙崎のヒーロー
～センザキッチン編～」



5年 総合「ぼくたちわたしたち！！
仙崎コンシェルジュ！」



6年 総合「つむぐ・未来へ
～恩返しプロジェクト～」



フラワー 自立活動「おもちゃ美術館へ」
～小中交流会～



仙崎小熟議「図書室改造計画」
～地域の方といっしょに～



6年 恒例の青海島汽船観光
～PTA バザー会計から～
保護者のみなさん、ありがとうございます。



6日(水) 通・仙崎みすゞ学園合同研修会
および合同学校運営協議会
(仙崎交流プラザ)

11日(月) 山の日

12日(火)～15日(金) 学校閉庁

21日(木) 全校登校日

22日(金)・25日(月) サマースクール

※希望者

8/21(木) 全校登校日

通常通りの集団登校です。

下校は10:40(SB 10:45)

服装…体操服・赤白帽子

持ち物…夏休みの宿題で終わったもの、上ぐつ、水筒、

汗ふきタオル、軍手

1学期も保護者、地域の皆様、大変お世話になりました。感謝でいっぱいです。
暑い日が続いております。体調には十分お気をつけください。
今後ともよろしくお願いたします。

